

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	推進会議出席者に事業所での出来事や、アクシデント等を報告する事が中心になっている。事業所内での問題や課題等に関する報告がなされていない状況で、双方向的な会議が出来ていない。	運営会議の中で、事業所や生活支援の提供での悩みや困っている事等、問題提起をし、参加者から意見やアドバイスがもらえるような会議の運営・支援に努める。	事業所が抱えている疑問や問題点、利用者への支援方法等の意見、助言をもらえるよう報告を行う。	12ヶ月
2	10	令和3年11月に家族会を開催したが、家族だけで話し合いを行う事ができず、家族会会長を中心とした十分な話し合いができなかった。	家族同士で活発的な話し合いができるよう、家族会を行なっていく。	事業所の方で何か一つテーマを設定し、それを家族者同士で話し合えるよう工夫する。	12ヶ月
3	23	利用者個々の思いや意向が把握できるような一覧の記録がなく、生活をして行く中での意向の変化を把握できるものがない。	利用者本人及び家族の意向が一目で把握できるような記録を取り、新規職員や他の関係者とも情報共有出来るよう整備する。	管理者・ケアマネージャー・介護スタッフ交えて、意向を収集できるような記録を検討、作成し、また、入書前、入所中に利用者本人とその家族の意向を聞き取り、介護支援計画に反映していくようにする。	12ヶ月
4	33	終末期の対応、看取り経験をした職員が少なく、事業所で看取りを行なうとなった際、不安を抱く職員がいる。	研修を行いながら、看取りに対する不安や対応方法について話し合いを行い、不安を軽減していく。	看取りに関する外部研修への参加と、年2回ほど事業所内で、看取り対応時にどのような不安があるのかを話し合い研修を実施していく。	12ヶ月
5					ヶ月